

230年前の1789年7月14日、パリのバスティーユ監獄襲撃に始まったフランス革命により栄華を極めたブルボン王朝は崩壊し、それと共に華やかなフランスの宮廷文化も終焉を迎えます。18世紀後半、既にヨーロッパ各国では啓蒙思想が広がり、市民階級の力が台頭して来ましたが、フランスではなおアンシャン・レジームと呼ばれる絶対君主制の支配が続いていました。バロックからロココへ続く宮廷文化の最後の爛熟期に活躍したフランスの作曲家たちの作品から、この時代と共に演奏の舞台から去って行った古楽器の優雅な響きをお楽しみ下さい。

Trio Caelestis : members

今 卓也 baroque Violin

1958年東京生まれ。6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏(NHK交響楽団)に師事。その後札幌にて故北本和彦氏、大澤昌孝氏(元東京フィル コンサート・マスター)、1993年より藤原浜雄氏(元読響ソロ・コンサート・マスター)に学ぶ。フリー奏者としてオーケストラ、室内楽などの分野で活動。また2005年よりバロック・ヴァイオリンを小野萬里氏、寺神戸亮氏、赤津眞言氏、ジャズを寺下誠氏に師事し、マルチ分野でのヴァイオリンの演奏活動を展開中。
古楽アンサンブル「Ensemble Caelestis」代表。

折原 麻美 Viola da gamba

国立音楽大学音楽学部音楽文化デザイン学科(音楽学)を卒業、同時に有馬賞を受賞。在学時にヴィオラ・ダ・ガンバを始め、2010年に渡欧、ブリュッセル王立音楽院古楽器科へ入学。2016年に優秀賞付きで修士課程を、2017年に研究科を修了。

2015年、リエージュ交響合唱団によるJ.S.バッハ「ヨハネ受難曲」のソリストを務める。更にBug's, Luxbeata等のアンサンブルに所属し、ベルギーのラジオ局Musiq' 3祭、ミディ・ミニム音楽祭(ブリュッセル)、ユトレヒト国際古楽音楽祭等ヨーロッパの主要な音楽祭に出演。2018年より拠点を日本に移し、求道会館(東京都)にて帰国記念リサイタルを開催。AYAMEアンサンブル・バロックや神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団等に所属し、国内外問わず幅広い活動を展開。

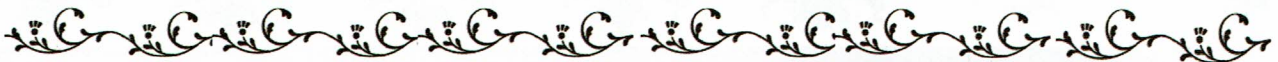
折原麻美オフィシャルウェブサイト: www.oriharaasami.com

山口 範子 Cembalo

東京藝術大学卒業。同大学院修了。チェンバロと通奏低音を鈴木雅明、中野振一郎、オルガンは今井奈緒子の各氏に師事。在学中、藝大安宅賞。第9回古楽コンクール第3位。第8回古楽の森オーディション合格。

これまでにテレマン室内管弦楽団、神戸市室内合奏団、東京都交響楽団、栄光メサイアソサイエティと共演。<東京・春・音楽祭><よこはま古楽まつり><荻窪音楽祭><横浜山手芸術祭>など多くの音楽祭に参加。現在、チェンバロとオルガンのソロ、通奏低音奏者として活動を続ける。

トリオアンサンブル「Sankt」、古楽カルテット「ムジカメンティス」、古楽かふえ主催「cafe B×G」メンバー。



⑥ 約100m先左側 (児童館手前) ⑤ 二本目の角を左折 (角切りに沿って)

④ 体育館の次の信号を右折

③ 中野体育館信号を左折

Space 415
芦野豊・ゆり子
〒165-0026
中野区新井
2-48-12
電話03-5380-2430

② 左手のエスカレーター / 階段を登る

① 中野駅北口下車

